

## 2022年度 後期 CNAS International Week オンデマンド報告会を開催しました

令和4年度教育改革・生涯学習推進・国際交流推進委員会による「CNAS International Week オンデマンド報告会」が開催されました。後期の報告会は2023年1月18日（水）～2月28日（火）の期間に3名の発表者の動画をオンデマンドにて配信し、多くの学生・教職員にご視聴いただきました。

2回生の稲吉 光里 さんには、「災害看護から学ぶ看護の可能性」というテーマでご発表いただきました。6か月に渡ってTOMODACHI J&J 災害看護研修プログラムに参加し、仙台、兵庫、東京、アメリカ（オンライン研修）と複数の拠点で研修を受けた経験や学びについてお話をいただきました。災害看護に向き合い、研修や講義、参加者とのディスカッションを通して学びを深められた様子が伺えました。



### 活動内容

- 飲食の提供
- 支援物資の仕分け
- 施設内の清掃
- 子供たちとの交流



2回生の上田 琳 さんには、「ウクライナ避難民と過ごした2週間」というテーマでご発表いただきました。上田さんと避難民の子ども達との関わりについて具体的にお話いただき、上田さんの「誰かの役に立ちたい」という熱い思いがヒシヒシと伝わりました。

兵庫県立大学の非常勤講師である Ben Chapman-Schmidt 先生には、「国際交流の種類と重要性」というテーマでご発表いただきました。スペイン、エストニア、日本での留学経験やフランスの大学に進学した経験を元に、それぞれの国際交流の特徴や、言語の壁の乗り越え方について具体的に教えていただきました。「それぞれの国で普通概念が違う」「海外に行くことで未来の扉を開くことができる」という言葉が印象的でした。



現在、少しずつ海外へ渡航できる状況となりました。国際交流について関心をもっていただけるよう、今後も様々なイベントを企画したいと思います。